

我が国の自然体験活動におけるデジタル技術活用の現状

How are digital technologies used in Outdoor Education?

- 企画者 甲斐 知彦 (関西学院大学)
- 企画協力者 青木 康太朗 (國學院大學) 竹内 靖子 (桃山学院大学)
- 西垣 幸造 (公益財団法人日本アウトワード・バウンド協会・関西学院大学)
- 登壇者 下仲 健太 氏 (前文部科学省、現国立淡路青少年交流の家)
- 野口 利恵 氏 (株式会社浜銀総合研究所)
- 遠山 昂 氏 (国立阿蘇青少年交流の家)

■シンポジウムの概要

2022年度に文部科学省からの委託調査として、浜銀総合研究所主導のもと、「自然体験活動におけるデジタル技術の活用に関する調査研究」が全国規模で実施されました。本自主企画シンポジウムは、その調査研究に実施者、調査研究員、事例紹介者として参画したメンバーで企画しました。当日は、実施主体の立場から下仲健太氏(現国立淡路青少年交流の家)、調査を主導され、多くの団体のヒヤリングを実施された野口利恵氏(株式会社浜銀総合研究所)、大変興味深い事例をご紹介いただいた遠山昂氏(国立阿蘇青少年交流の家)にご登壇いただき、我が国における自然体験活動へのデジタル技術の活用状況を学会大会にご参加の皆さんと共有させていただきたいと思っております。

次世代の野外教育について考える：**デジタル技術・AI・WEB3は野外教育とどう交わるか**

Thinking about the next generation of outdoor education: How will digital technology, AI, and WEB3 intersect with outdoor education?

- 司会者・話題提供者 及川 未希生 (盛岡大学短期大学部)
- 話題提供者 庄子 佳吾 (桜の聖母短期大学)

■シンポジウムの概要

急速なデジタル技術の進展が様々な分野に波及する中、野外教育とデジタル技術との融和についても他分野同様に次世代に向けた研究が進展していく必要がある。本シンポジウムでは、次世代の野外教育がデジタル技術・AI・WEB3とどのように関わり合い、交わっていくことができるのかについて可能性を探る。

具体的には、ゲーム型授業応答システム「Kahoot!」の実践事例、リアルタイム性と情報拡散性に優れたSNSである「Twitter」の機能を活用した野外活動での事例を取り上げ、学習効果や情報伝達の効率性等について野外教育との援用の可能性をテーマに議論する。

さらに、ブロックチェーン技術を利用した次世代型健康ヘルスケアアプリの実態を紹介し、WEB3社会における野外教育とデジタル技術の交錯点について、参加者と意見交換を行いながら新たな知見を共有し、次世代の野外教育の可能性を引き出すことを目指す。